

# ラトビア月報

【2018年11月】



2018年（平成30年）12月発行  
在ラトビア日本国大使館  
<http://www.lv.emb-japan.go.jp/>

## 主な内容

### 【政治】

- ・新政権樹立に向けた動き（P. 1）

### 【経済】

- ・レール・バルティカ計画の入札が第二段階へ（P. 3）

### 【外交】

- ・ベーヨニス大統領のウクライナ訪問（P. 5）

### 【その他】

- ・リガ・マラソンが「IAAF ゴールドラベル」に認定される（P. 7）

※「ラトビア月報」は、ラトビアにおける政治・経済状況等について、ラトビア政府発表や各種報道等の公開資料（原則として該当月の月末までの情報）を取りまとめたもので、在ラトビア日本大使館の見解を述べたものではありません。月別の時事情報として御参照いただければ幸いです。

## —政治—

### 【今月の注目記事】

#### ◆新政権樹立に向けた動き

7日、ベーヨニス大統領は、ボルダース議員（「新保守党」所属）に組閣を要請することを決定した。ベーヨニス大統領はボルダース議員と面会し、11月21日までに次の内閣を形成すること及び内閣構想に対する国会の過半数の支持を得ることを求めた。

14日、「発展・For!」、「ナショナル・アライアンス」及び「新・統一」の3党は、ボルダース議員による組閣協議への参加中止を決定した。16日、ベーヨニス大統領はボルダース議員に対する首相候補指名を正式に撤回した。

26日、ベーヨニス大統領、ゴブゼムス議員（「KPV LV」所属）を新たな首相候補として指名した。ベーヨニス大統領はゴブゼムス議員に対して、国会の支持を確保し、閣僚を選出し、政府の宣言を起草するために2週間の期間を与えた。

#### ◆第12回国会の最終本会議

11月1日、第12回国会の最終本会議が行われた。

#### ◆レシートのくじ引き導入

11月1日、国会はレシートのくじ引きを導入する法案を可決した。ラトビア住民は5ユーロ以上のレシートをウェブサイト（cekuloterija.lv）に登録することにより、くじ引きに参加できる。月間賞及び年間賞があり、月間賞は1万ユーロが1本、5,000ユーロが3本、100ユーロが50本であり、年間賞は2万ユーロが1本、1万ユーロが4本、2,000ユーロが5本である。レシートは2019年7月1日より登録可能であり、最初の年間くじ引きは2020年1月に開催される。くじ引きは歳入庁が開催し、国営くじ引き会社「ラトビヤス・ロト」が結果を公表する。これは住民がレシートを要求することによって増徴を促進することを目的としている。

#### ◆第13回国会の初召集及び国会議長団の選出

6日、第13回ラトビア国会が召集され、議長団が選出された。

国会議長：イナーラ・ムールニエツェ（再選、「ナショナル・アライアンス」所属）

国会副議長（2名）：ダグマーラ・ベイトネレ＝レ・ガラ（「新保守党」所属）、

イネセ・リービニャ＝エグネレ（再選、「新・統一」所属）

国会書記：アンドレイス・クレメンティエウス（再選、「調和」所属）

国会副書記：マリヤ・ゴルベバ（「発展・For!」所属）

### ◆独立記念行事の開催

11月18日、ラトビアの独立宣言から100周年を記念して、ラトビア国会の記念行事やリガ市内の自由記念碑周辺での献花式、軍事パレードなどが行われ、ベーヨニス大統領、ムールニエツェ国会議長及びクチンスキス首相らが出席した。

国会の行事としては、ムールニエツェ議長が1918年11月18日に独立宣言が発表された国立劇場で演説し、100周年を自由で民主的な国家として祝福できることに満足の意を表した。

### ◆国会は常設委員会のメンバーを選出

11月20日～21日にかけて、国会は16ある常設委員会の委員長及びメンバーを選出した。

外交委員長：リハルズ・コルス（「ナショナル・アライアンス」所属）

予算・財政（税制）委員長：マールティンシュ・ボンダルス（「発展・For!」所属）

法務委員長：ヤーニス・ボルダーンス（「新保守党」所属）

人権・公共委員長：アルトウス・カイミンシュ（「KPV LV」所属）

教育・文化・科学委員長：アルビルス・アシェラデンス（「新・統一」所属）

国防・内務・汚職防止委員長：ユリス・ユラシュ（「新保守党」所属）

行政・地方政府委員長：セルゲイス・ドルゴポロウス（「調和」所属）

経済・農業・環境・地域政策委員長：ヤーニス・ドゥークラウス（「緑と農民連合」所属）

社会・雇用問題委員長：アンドリス・スクリデ（「発展・For!」所属）

権限・倫理・具申委員長：ヤニーナ・クルスィーテ＝パクレ（「ナショナル・アライアンス」所属）

国会審査委員長：リンダ・リエピニャ（「KPV LV」所属）

公共支出・会計検査委員長：カスパルス・ギルギェンス（「KPV LV」所属）

国家安全保障委員長：マーリス・クチンスキス（「緑と農民連合」所属）

市民権・移民・社会統合委員長：アンドレイス・ユディンス（「新・統一」所属）

欧州問題委員長：ビタ・アンダ・テーラウダ（「発展・For!」所属）

持続可能な開発委員長：ビャチェスラウス・ドンブロウスキス（「調和」所属）

### ◆シャドウルスキス教育・科学相の辞任・欧州議員への転出

シャドウルスキス教育・科学大臣は、その職を辞し、欧州議会議員となる。内閣によると、11月27日が同氏の教育・科学大臣としての最後の閣議出席であり、28日にもブリュッセルに出発する。パブリクス欧州議会議員が第13回ラトビア国会に選出されたため、欧州議会議員としての資格が次点の「統一」の候補者に委譲される。次点だったカルニンシュ氏もラトビア国会に選出されたことから欧州議会議員資格を辞退してい

たため、シャドウルスキス氏が繰り上がることとなった。同氏はラトビア国会選挙に落選していた。教育・科学大臣の職務はレイルス社会福祉大臣が引き継ぐこととなった。

◆ダウガウピルス市長解任

11月22日、ラトビア南東部にあるラトビア第2の都市であるダウガウピルスの市議会において、現職のエイギムス市長（「我々の党」所属）が解任された。「ラトガレ党」議員6名、「調和」議員4名、「我々の党」1名の計11名の議員が、エイギムス市長の解任に賛成票を投じた。エイギムス市長の解任を求める嘆願書が、15名から成る議会のうち9名により署名されており、この数は市長を解任するのに十分であった。エイギムス市長は討論なしに解任され、決定は数分で行われた。市議会では、プレラトウス議員（「我々の党」所属）が新市長が選出されるまでの市長代行に任命された。



【今月の注目記事】

◆レール・バルティカ計画の調達が第2段階へ

11月5日、RB Rail社は、レール・バルティカ計画のうちリガを経由する主要路線の調達が第2段階に至ったと発表した。提案書の提出期限は2019年1月22日であり、入札者は24か月間の中に基本設計等を行うこととなっている。6つのコンソーシアムが第二段階の入札参加資格を得ている。

◆Norvik銀行がPNB銀行へ名称変更

11月9日、Norvik銀行はPNB銀行に名称を変更した。支店名を含め、名称の変更は段階的に行われる予定である。

◆EBRDによる2018年のGDP成長率見込み

11月2日、EBRDは2018年のGDP成長率見込みを5月時点の見込みより0.4ポイント増の3.9%に上方修正した。リトアニアのGDP成長率見込みを0.2ポイント増の3.4%に上方修正、エストニアの予想成長率を0.2ポイント減の3.6%に下方修正した。

ラトビア	リトアニア	エストニア
3.9%増 (+0.4%)	3.4%増 (+0.2%)	3.6%増 (-0.2%)

(括弧内は5月の予想との比較)

◆乳製品をミャンマー及びカンボジアへ輸出開始

11月5日、ショルクス・ラトビア中央酪農協会会長は「ラトビアの酪農業者はミヤ

ンマー及びカンボジアへ粉ミルク及び粉スキムミルクの輸出を開始した。また、米国及びイスラエルへの輸出も増加している。現在、ラトビアの酪農業者の生産性は向上しており、国内で加工・消費されているのは酪農業者より購入した牛乳の3分の1強のみである。」と述べた。

#### ◆中国西安市発ミンスク経由のコンテナ列車がリガ港に到着

11月16日、中国西安市発ミンスク（ベラルーシ）経由の初のコンテナ列車がリガ港に到着した。同列車は海路で更にドイツとフィンランドの港に運ばれる予定である。また、ロッテルダム港からリガに到着した260個を超える貨物コンテナがミンスク経由で中国へ出荷される予定である。西安国際港地区のウェブサイトによれば、本年9月2日、ベルズインシュ・ラトビア鉄道総裁と西安国際港地区との間で戦略的協力協定を結んでいた。

#### ◆10月の消費者物価上昇率は3.2%

11月8日、中央統計局は、2018年10月の消費者物価上昇率が対前年同月比3.2%だったと発表した（物品価格は3.3%上昇、サービス価格は3.0%上昇）。過去12か月間の平均物価上昇率は2.5%だった。部門別では、石油製品（対前年同月比17.6%）、住宅関連（5.7%）、アルコール飲料・タバコ（5.3%）などで物価の上昇が見られた。

#### ◆スペインのTalgo社から電車車両32両を225万ユーロで調達

11月21日、グリギリス旅客鉄道社CEOは、スペインのTalgo社から電車車両32両を2億2530万ユーロで調達すると発表した。契約には維持管理、一部部品や研修も含まれている。これに先立つ5日、ラトビア政府は旅客鉄道社の車両等購入及び車庫建設のために2億5900万ユーロを2019年から2024年の間に投資することを許可していた。

#### ◆2018年第3四半期の平均月給は1,006ユーロ

11月29日、中央統計局は、2018年第3四半期の平均月給（グロス）は対前年同期比8.0%増加し1,006ユーロとなったと発表した。業種別では、金融・保険部門（1,932ユーロ）や情報・通信部門（1,584ユーロ）の月給額が特に高かった一方、宿泊・食品サービス部門（720ユーロ）や教育部門（822ユーロ）などは平均を下回っていた。なお、手取りの平均月給（ネット）は対前年同期比で9.5%増加し744ユーロとなった。

#### ◆2018年第3四半期の実質GDP成長率は4.7%

11月30日、中央統計局は、2018年第3四半期の名目GDPは78億ユーロ、実質GDP成長率（対前年同期比）は4.7%であったと発表した。部門別では、情報・通信部門（対前年同期比13.7%増）や建設業（10.3%増）や運輸・物流業（8.2%増）など多

くの部門で成長がみられた。

## —外交—

### 【今月の注目記事】

#### ◆ベーヨニス大統領のウクライナ訪問

11月23日から25日にかけて、ベーヨニス大統領はウクライナを訪問した。

24日、ベーヨニス大統領は、ポロシェンコ・ウクライナ大統領と会談した。会談後記者会見において、「ラトビアはウクライナのEUとNATOへの道を支援する。ラトビアはドンバスにおけるロシアの攻撃的行動を強く非難する。アゾフ海の封鎖はロシアの一貫した破壊的地域政策の証である。」と述べ、ウクライナ政府の管理下でないドネツク及びルハンスクにおける違法な選挙を承認しないことを強調した。その他、ベーヨニス大統領は、ホロドモール（1932年から33年の大飢饉）の85周年記念行事に出席するとともに、クリミア・タタール人の代表と面会した

25日、ベーヨニス大統領はウクライナ東部ドネツクの都市マリンカを訪問し、ウクライナ軍の偵察基地及び破壊された都市を視察した。大統領は、ウクライナ軍統合指令本部の幹部と会談し、ウクライナの領土の一体性及び主権への強い支持を改めて表明した。大統領はまた、OSCEの特別査察ミッションにラトビア人専門家8名を派遣していること及び15名のウクライナ人負傷兵に対する治療が現在ラトビアで行われていることについて言及した。

#### ◆リンケービッチ外相のEU総務理事会出席

11月12日、リンケービッチ外相はブリュッセルを訪問し、EU総務理事会に出席した。

#### ◆ラトビアはドネツクでの違法選挙実施を非難

11月12日、ラトビア外務省は11日のいわゆる「ドネツク・ルハンスク人民共和国」における違法な選挙実施はミンスク合意の違反であると非難し、ロシアが支援したその選挙結果を認めないと発表した。

#### ◆ヨハネソン・アイスランド大統領の来訪

11月15日～18日の間、ヨハネソン・アイスランド大統領はラトビアを公式訪問し、ラトビアの100周年記念式典等に参加した。

16日、ヨハネソン・アイスランド大統領はベーヨニス大統領及びリンケービッチ外相と会談し、二国間関係並びにNB8及びNATOの枠組みにおける協力等に関して協議した。ラトビア側は1991年にアイスランドがラトビアを含むバルト三国の独立回復

を最初に承認したことに謝意を表明した。

#### ◆欧州委員会はラトビアの2019年予算を承認

11月21日、欧州委員会はラトビアの2019年予算案を承認した。同案によると、歳入91億7800万ユーロ（前年比2億1700万ユーロ増）、歳出92億500万ユーロ（前年比9600万ユーロ増）、財政赤字はGDP比0.7%、政府債務はGDP比38.5%。国防予算にはGDP比2%、医療・保健分野の予算には前年比1億5400万ユーロ増の合計10億ユーロが割り当てられる予定。

#### ◆ラトビアはロシアによるウクライナ海軍船舶の拿捕を非難

26日、ラトビア外務省は、ロシア国境警備局によるウクライナ海軍船舶の拿捕に関して声明を発売し、黒海及びアゾフ海におけるロシアの攻撃的な行動を非難し、ロシアに国際法の遵守を求めた。

#### ◆ベーヨニス大統領のアフガニスタン訪問

11月27日～29日の間、ベーヨニス大統領はアフガニスタンを訪問し、27日、ダーネシュ副大統領と会談した。ベーヨニス大統領は「アフガニスタン政府による国の長期的な安全保障、安定、発展及びタリバンとの和平に向けた努力を支援する。」と述べた。ベーヨニス大統領はアフガニスタンに駐留しているNATO「確固たる支援任務」の幹部と会談するとともに、参加しているラトビア兵士とも面会する。ラトビアからは約40名の兵士が駐留している。

#### ◆リンケービッチ外相のスロバキア訪問

11月29日、リンケービッチ外相はスロバキアを訪問し、（EU多年度予算の）結束基金同調者グループ・サミット（主に、東ヨーロッパの16EU加盟国、欧州委員会及び欧州投資銀行の代表により構成）に出席した。同会合で、リンケービッチ外相はEU加盟国間の所得格差を縮小する必要性を強調し、欧州委員会が提案している結束基金削減案は受け入れられないと述べた。

## —その他—

### 【今月の注目記事】

#### ◆リガ・マラソンが「IAAF ゴールドラベル」に認定される

11月15日、国際陸上競技連盟（IAAF: International Association of Athletics Federations）はLattelcomリガ・マラソンが世界最高峰のマラソン大会の証である「IAAF ゴールドラベル」のコンプライアンスを満たしていることを認定した。リガ・マラソンは2019年5月19日に「IAAF ゴールドラベル」として初の大会を開催し、北欧における唯一の「IAAF ゴールドラベル」マラソンとなる。2018年時点で「IAAF ゴールドラベル」を満たすマラソンは世界で36（東京、パリ、プラハ、ニューヨーク、ロンドン、ボストン、ベルリン及びアムステルダム等）あり、そのうち、欧州では11ある。

#### ◆レベカ・コハ重量挙げ選手は世界選手権で銅メダルを獲得

11月4日、トルクメニスタンで開催された重量挙げの世界選手権の女子ライト（58キログラム）級で、レベカ・コハ選手はスナッチ103キログラム、ジャーク124キログラムのトータル227キログラムで銅メダルを獲得し、個人記録も更新した。台湾のHsing-Chun Kuo選手がトータル237キログラムで金メダル、中国のGuiming Chen選手がトータル231キログラムで銀メダルを獲得した。

#### ◆ブリエディス選手はワールドボクシング・スーパーシリーズの準決勝進出

11月10日、シカゴで開催されているワールドボクシング・スーパーシリーズの準々決勝で、マイリス・ブリエディス選手はアルメニア系ドイツ人のノエル・ミカエリアン選手に勝利し、準決勝への進出を決めた。準決勝の相手はポーランドのクシストフ・グウォバツキ選手。

#### ◆カルニエテ欧州議会議員は「Truman-Reagan Medal of Freedom」を受賞

11月14日、ワシントンD.C.においてカルニエテ欧州議会議員はエストニアのケラム欧州議会議員及びアダムクス元リトアニア大統領と共に、自由及び民主主義のために生涯を捧げ、共産主義その他の圧政と戦った人に与えられる「Truman-Reagan Medal of Freedom」を受賞した。

以上

2018年11月の主な出来事

	【内政】	【外交】
11月	<p>1日, 第12回国会の最終本会議</p> <p>6日, 第13回国会の初召集</p> <p>18日, 独立記念行事の開催</p>	<p>12日, リンケービッチ外相EU総務理事会出席</p> <p>15日～18日, ヨハネソン・アイスランド大統領の来訪</p> <p>23日～25日, ベーヨニス大統領のウクライナ訪問</p> <p>27日～29日, ベーヨニス大統領のアフガニスタン訪問</p> <p>29日, リンケービッチ外相のスロバキア訪問</p>

ラトビア主要経済指標

GDP

	単位	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018 Q1	2018 Q2	2018 Q3	出典
名目GDP	百万ユーロ	17,938	20,303	21,886	22,787	23,618	24,320	24,926	26,857	6,304	7,279	-	中央統計局
国民一人当たりGDP	ユーロ	8,553	9,861	10,762	11,321	11,843	12,300	12,721	13,855	-	-	-	中央統計局
GDP実質成長率	%	▲ 3.9	6.4	4.0	2.4	1.9	3.0	2.2	4.5	4.0	5.3	-	中央統計局

財政収支, 政府債務残高

	単位	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018 Q1	2018 Q2	2018 Q3	出典
財政収支	百万ユーロ	▲ 1,558	▲ 874	▲ 264	▲ 264	▲ 352	▲ 331	16	▲ 156	237	368	-	中央統計局
財政収支対GDP比	%	▲ 8.7	▲ 4.3	▲ 1.2	▲ 1.2	▲ 1.5	▲ 1.4	0.1	▲ 0.6	-	-	-	中央統計局
政府債務残高	百万ユーロ	8,402	8,663	9,020	8,893	9,669	8,953	10,092	10,807	9,765	10,386	-	中央統計局
政府債務対GDP比	%	46.8	42.7	41.2	39.0	40.9	36.8	40.5	40.0	-	-	-	中央統計局

失業率, インフレ率, 月額平均賃金

	単位	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018 Q1	2018 Q2	2018 Q3	出典
失業率(15-74歳)	%	19.5	16.2	15.0	11.9	10.8	9.9	9.6	8.7	8.2	7.7	7.0	中央統計局
インフレ率	%	▲ 1.1	4.4	2.3	0.0	0.6	0.2	0.1	2.9	2.0	2.4	2.9	中央統計局
平均賃金(グロス)	ユーロ	633	660	685	716	765	818	859	926	961	1,004	-	中央統計局
平均賃金(ネット)	ユーロ	450	470	488	516	560	603	631	676	712	743	-	中央統計局
最低賃金(月額, グロス)	ユーロ	256	285	285	285	320	360	370	380	430	430	430	中央統計局
世帯一人あたり可処分所得	ユーロ	286	305	320	354	387	417	437	-	-	-	-	中央統計局

海外直接投資(FDI)

	単位	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018 Q1	2018 Q2	2018 Q3	出典
海外直接投資残高	百万ユーロ	8,184	9,360	10,258	11,570	12,415	13,543	13,456	14,370	14,911	14,838	-	中央銀行

貿易統計

	単位	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018 Q1	2018 Q2	2018 Q3	出典
輸出(FOB)	百万ユーロ	6,680	8,535	9,871	10,021	10,249	10,363	10,358	11,507	2,893	3,097	3,063	中央統計局
輸入(CIF)	百万ユーロ	8,412	10,983	12,512	12,635	12,654	12,492	12,249	14,041	3,447	3,780	4,212	中央統計局
貿易収支	百万ユーロ	▲ 1,732	▲ 2,448	▲ 2,641	▲ 2,614	▲ 2,405	▲ 2,129	▲ 1,891	▲ 2,534	▲ 554	▲ 683	▲ 1,149	中央統計局

日・ラトビア貿易(ラトビア政府統計)

	単位	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018 Q1	2018 Q2	2018 Q3	出典
日本への輸出	千ユーロ	33,634	34,792	34,615	44,091	32,989	39,592	48,524	50,526	12,168	13,659	10,662	中央統計局
日本からの輸入	千ユーロ	7,463	16,975	14,050	12,044	13,418	20,405	18,974	22,282	5,368	7,843	7,548	中央統計局
対日貿易収支	千ユーロ	26,171	17,817	20,565	32,047	19,571	19,187	29,550	28,244	6,800	5,816	3,114	中央統計局

日・ラトビア貿易(日本政府統計)

	単位	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018 Q1	2018 Q2	2018 Q3	出典
ラトビアへの輸出	百万円	3,458	4,050	4,908	5,054	5,240	6,386	5,523	7,573	1,841	2,250	2,094	財務省統計
ラトビアからの輸入	百万円	4,609	4,587	8,761	6,658	6,235	7,217	9,291	8,017	2,086	2,142	2,114	財務省統計
対ラトビア貿易収支	百万円	▲ 1,151	▲ 537	▲ 3,853	▲ 1,604	▲ 995	▲ 831	▲ 3,768	▲ 444	▲ 245	108	▲ 20	財務省統計

両国間の訪問者数

	単位	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018 Q1	2018 Q2	2018 Q3	出典
ラトビア→日本	人	875	495	807	996	1,315	1,685	2,016	2,547	577	795	-	日本入管統計
日本→ラトビア(宿泊統計)	人	5,428	5,843	7,322	8,988	15,606	21,575	23,191	24,576	3,948	10,476	10,247	中央統計局

(注)ラトビアは2014年1月1日ユーロを導入した。2018年10月末現在、1ユーロ=128円程度。